

豊年祈願祭 谷汲踊

〜五穀豊穡を願って勇壮な舞〜

2月18日(火)、谷汲山華厳寺仁王門前や周辺(谷汲徳積)で、豊作や家内安全を祈願する豊年祈願祭(谷汲踊)が行われ、約3500人の見物客で賑わいました。

岐阜県重要無形民俗文化財第1号に指定されている谷汲踊は、源平合戦で源氏の勝利を祝った踊りが起源とされ、約800年の歴史があります。現在は、五穀豊穡や無病息災を祈る踊りとして谷汲踊保存会(竹中義則会長)が伝承しています。

鳳凰の羽に見立てた長さ4メートルの色鮮やかな竹製の「シナイ」を背負った踊り手が胸に抱えた太鼓を打ち鳴らしながら勇壮華麗な舞を披露すると詰めかけた写真愛好家は、盛んにシャッターを切っていました。



▲谷汲山華厳寺仁王門前で奉納される谷汲踊

叙勲(瑞宝双光章)受章

2月19日(水)、瑞宝双光章を受章された清水新平さん(上野)に宗宮町長より伝達が行われました。

清水さんは、昭和20年9月から昭和61年3月まで、小学校や中学校の教員として勤められ、奉職した羽島郡竹鼻町立竹鼻第一小学校(当時)では、戦後の混沌とした中、児童の健全な発達のため新教育の実践に尽くされました。

また、ご自身も第2回国民体育大会(石川県)体操競技の部に岐阜県教員チームの一員として参加され、優勝するという快挙を成し遂げられました。その理論と功績は県内から大きな注目を浴び、抜群の指導力で体育教育に大きな業績を残されました。

昭和52年からは、校長として、児童・生徒の基礎学力の向上に努められました。これらの功績が認められ、今回の叙勲の受章となりました。受章おめでとうございます。



▲叙勲の伝達が行われました

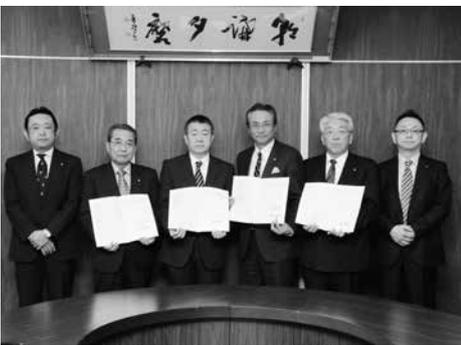
災害時の歯科医療救護に関する協定 締結式

2月20日(木)、揖斐郡3町と揖斐歯科医師会が災害時の歯科医療救護に関する協定を結びました。

この協定は、災害時に町からの要請に応じて歯科医療救護班を編成して派遣するというもので、歯科傷病者の応急治療や摂食障害のある人に歯科治療などの対応を行います。

揖斐総行庁舎で行われた締結式では、宗宮町長、宇佐美町長(大野町)、岡崎町長(池田町)と歯科医師会の乗松隆行会長が協定書を交わしました。

郡町村会長の宇佐美町長が「災害時には色々なことが起きるので、支援がないと対応できない。これを機会に歯科医師会との緊密な繋がりを願いたい」と挨拶し、乗松会長も「3町と歯科医師会との連携を強めたい」と挨拶しました。



▲協定締結式の様子

IBIGAWAフリーマラソン

今年も700名が参加

2月23日(日)、揖斐川健康広場周辺をコースに「第27回IBIGAWAフリーマラソン」(町体育協会・町教育委員会主催)が開催されました。エントリー種目は男女別に一般・中学生・小学生の部と家族全員でゴールすることが条件のファミリーの部の7部門があり、だれもが気軽に楽しめる大会です。

また、この大会は一昨年から10月に開催される岐阜清流駅伝の選手選考大会にもなっているため、郡内のトップ選手の参加も年々増えていきます。今年も約700名の参加があり、青空の下、颯爽と揖斐路を駆けました。沿道からはランナーに温かい声援が送られ、全員がゴールしました。



▲元気に駆けるランナー